

## 復旧に向けての処置法

### — 穀物乾燥機編 —



# 復旧に向けて

## 1. 十分に乾燥させます

＜室内、作業場：木造倉庫、土間の納屋＞

- ・カビに侵される危険があります。
- ・エアコンを除湿にする／除湿機など使って乾燥させましょう。

# 復旧に向けて

## 2. 浸水してしまった乾燥機修理の留意点

**電源は絶対に投入しないで下さい。**

⇒感電などの危険性があります。

完全に乾くまでは電源を入れないで下さい。

①カバー類をはずして下さい。

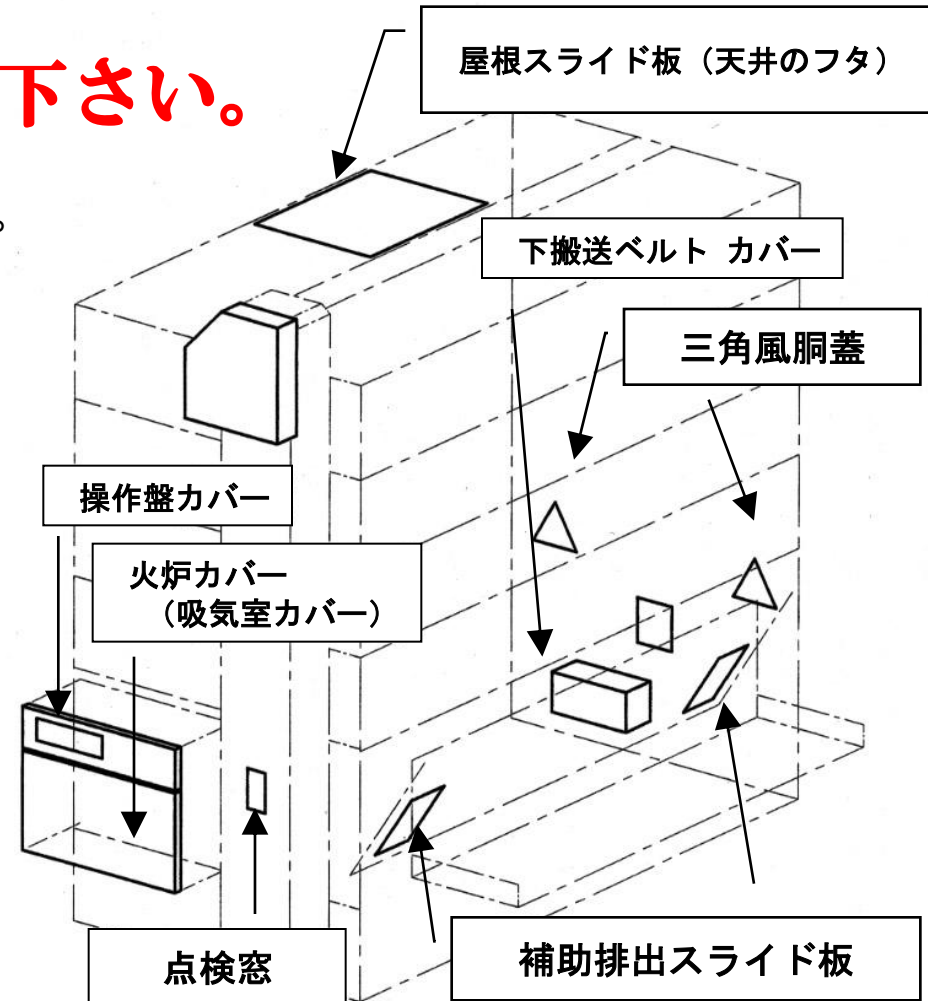
②ブラシや洗車機等を使用し、水道水できれいに洗い流す。

③（水が引いたら、できるだけ早く行うのが望ましい）

④シャッタドラム内部とバーナ本体・炉体内部の洗浄を忘れずに行ってください。

**乾かす前に水滴を飛ばします。**

エアガンやブロワなどを使用して水滴を極力残さないようにする。



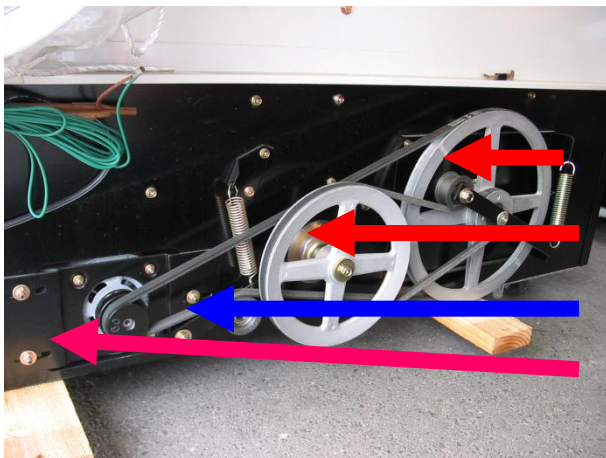
# 復旧に向けて

## 3. もしも交換部品の手配が見つからない場合

洗浄によって一時的に使用可能になる場合もありますが、浸水した部品は交換が原則です。洗浄乾燥して再利用する部品はいかなる場合においても補償対象外となります。ご了解お願い致します。

**電源は絶対に投入しない。**

### ①分解して洗浄する



軸受け  
(ベアリング)

テンションプーリ

下搬送モータ

操作盤も少し濡れた程度であれば一時的に使用できる可能性があります。

基板を取り外して水道水で洗浄し、水滴をブロアなどで吹き飛ばした後、完全に乾くまで陰干しします。

軸と軸受けは汚泥が入り込んでいますので分解洗浄が必要です。またベアリングはシールから水や泥が浸入し徐々にグリスが漏れ出したり劣化し、やがて損傷します。

# 【安全に作業を行うために】



専門知識が必要な作業、危険な高所作業が伴う場合は、ご購入先へお早目にご相談お願いいたします。

※高所作業はしないで下さい。  
(乾燥機の屋根には危険ですので上らないでください)

